５　研究を支える取組

⑴　研究授業及び全体研修会の実施

①　研究授業の実施と、それに関わる教科等横断的な視点も踏まえた指導案検討会及び授業研究会の実施

②　相互授業参観の機会の設定

③　主に共通実践事項についての各教科の実践紹介

④　主に学習習慣についての各学年部の実践や定着状況の確認

⑤　小・中連携の取組を通した児童生徒の実態把握と授業改善

⑵　基礎的・基本的な学習内容の定着

①　計画的な基礎テストの実施による学習内容の指導と定着の確認

②　生徒の実態に応じた少人数指導及びティーム・ティーチングの効果的な活用

③　朝の活動、放課後、長期休業を活用した学習相談の実施

⑶　学習規律及び学習習慣の確立

①　生活記録ノート「若竹」を活用した「学習の約束」の徹底

②　委員会活動と連携した毎時間の学習評価と学習用具の管理の徹底

③　全校朝読書の実施

④　学年ごとの約束による家庭学習の習慣化を図る指導

⑤　毎時間の授業における共通フリップの活用

⑷　諸調査の活用

①　全国学力・学習状況調査結果の活用
自校採点、成果と課題の分析、指導方法の工夫改善

②　県学習状況調査結果の活用
令和６年度の課題の重点的な指導、令和６年度の結果の分析と指導方法の改善

③　生徒アンケートの実施と分析、それに基づく研究の方向性の修正

④　各教科、分掌における取組状況の確認と評価検証、それに基づく改善策立案と実施

⑸　人間関係づくり、学習環境の整備

①　意図的な少人数グループの構成、座席配置等、ねらいに応じた学習形態の工夫

②　特別活動を主体とした異年齢の集団における関わりの機会の充実

③　家庭や地域、年齢や立場の異なる人等、他者と協働して取り組む学習の推進

④　掲示物、生徒の作品等の計画的な紹介、掲示

⑹　教師のカウンセリング能力の向上

①　「話す」「聞く」「観る」力を発揮した定性的評価

②　生徒の生活及び学習状況に関する日常的な情報交換

③　机間指導や学習シートの確認による発言や記述からの学習状況の把握

④　生徒がよい行動を習慣化できるようにするための教科等による統一した指導

６　研究・研修計画

４月	研究計画立案 教科等部会、学年部会（随時設定） 研究推進委員会（毎週設定） 定例職員会議（毎月設定） 校内研修会（随時設定） 特別支援教育に関する研修会	８月	中央教育事務所所長訪問 各教科、分掌の評価検証① 県市連携に関する研修会
５月	教科等訪問指導案検討会①②	12月	県学習状況調査 生徒アンケート②
６月	教科等訪問（数学、道徳） 相互参観授業（６～12月）	１月	諸調査の分析 各教科、分掌の評価検証②
７月	生徒アンケート① 諸調査の分析 市教育委員会委員訪問	２月	今年度の成果と課題の確認及び研究集録作成 次年度の基本方針立案